

お知らせ 第3回 運転と認知機能研究会

近年、高齢者の関与する交通事故が増加しており、その中で認知症ドライバーや認知機能が低下していると考えられる高齢ドライバーへの対応が深刻な社会問題となっています。また、身体障害を持つ人への自動車運転の支援は積極的に行われている一方で、脳疾患による高次脳機能障害者の運転適性をどのように評価、判断するかについては十分な議論がなされていません。

本研究会は、認知症や高次脳機能障害を持つ人に携わるさまざまな職種の専門家が、認知機能の観点から自動車運転の問題を考える「共通の場」となることを目的として平成20年に発足しました。昨年11月には第2回研究会を開催し、東京大学高齢社会総合研究機構の鎌田実教授の特別講演、警察庁交通局運転免許課の首藤祐司課長の教育講演と、10題の一般演題を行いました。多数の参加者を得て、大変活発な意見交換ができました。本年もさらに自由に議論ができればと願っています。

より安全な交通社会の形成と、障害者の自立的な移動の促進のためには、医療、交通行政、運転教育など、それぞれの分野の学際的な連携が必要です。このような主旨をご理解いただき、ぜひ多くの方々にご参加いただけるよう、お願い申し上げます。

特別顧問

大内 尉義(東京大学医学部加齢医学教授)

本間 昭(浴風会 認知症介護研究・研修東京センター センター長)

世話人

荒井 由美子((国立長寿医療センター研究所 長寿政策・在宅医療研究部部長)

飯島節(筑波大学人間総合科学研究科教授)

池田学(熊本大学脳機能病態学分野教授)

井上剛伸(国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部部長)

上村直人(高知大学医学部神経精神科講師)

鎌田 実(東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 教授)

種村留美(神戸大学大学院保健学研究科教授)

玉井 顕(敦賀温泉病院院長)

鳥羽研二(国立長寿医療研究センター病院 病院長)

三村 将(昭和大学医学部精神科准教授) (世話人代表)



記

日時: 2010年11月27日(土) 13時30分～18時

会場: 昭和大学医学部 (〒142-8666 品川区旗の台1-5-8) 臨床講堂(入院棟地下1階)(予定)

<http://www.showa-u.ac.jp/guide/campus/hatanodai.html> *旗の台駅東口徒歩5分

会費: 事前申し込み(10/31までに研究会サイトにてお申込みの場合):3000円 当日受付:4000円

内容: 教育講演1 高知大学医学部神経科精神科講師 上村直人先生「認知症と自動車運転
-臨床的話題と課題」

教育講演2 慶應義塾大学政策・メディア研究科専任講師 西山敏樹先生「未来の交通社会
～電気自動車技術を中心にしたエコデザイン化とユニバーサルデザイン化の推進～」

一般演題 8題

- 一般演題を公募いたします。症例検討や問題提起、相談、電動車いすの問題なども歓迎いたします。詳細は事務局までお問い合わせください。
- 発表は口頭発表で10分～15分程度を予定していますが増減することがあります。
- 発表は液晶プロジェクターにて行います。データはWindows PowerPointで作成をお願いいたします。詳細は研究会サイト:<http://cogdrive.org/>の演題応募要項をご確認下さい。

連絡先: 「運転と認知機能研究会」事務局 藤田佳男 メール: info@cogdrive.org Fax:03-3308-1710

〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11 昭和大学医学部精神医学教室

研究会 HP: <http://cogdrive.org/> 電話:03-3300-5232(メールで連絡がつかない際にご利用下さい)